

松井の6ヵ年英語 2012年入学生

2013年10月14日

この教材は10月14、21日と2回に分けて使用しますので、21日にも持ってきてください。

<passage 1>と<passage 2>を予習して14日の授業に臨んで下さい。

学習のポイント：仮定法

1：仮定法の基本形

仮定法には仮定法過去、仮定法過去完了、仮定法未来、仮定法現在がある。

仮定法過去

仮定法過去とは：

現在の事実に反することを述べる表現形式

基本構文：

<If + 主語 + 過去形の動詞 (be動詞は人称にかかわらず were) ~、主語 + would / should / could / might + 動詞の原形 ~>

訳：現在のことを述べているので訳は現在時制で訳すこと

注：if節の主語が1人称 (I, we) 3人称単数の場合には were の代わりに was が用いられることが多い。

If we moved out of town, we could afford a larger house.

「町から引越せば、もっと大きな家に住む余裕があるのだが」

仮定法過去完了

仮定法過去完了とは：

過去の事実に反することを仮定で述べる表現形式

基本構文：

<If + 主語 + had + 過去分詞 ~、主語 + would / should / could / might + have + 動詞の過去分詞 >

訳：時制は過去完了だが、過去のことを述べているので、過去形で訳すこと。

If I had known his e-mail address, I could have contacted him.

「もし彼のメールアドレスを知っていたら、彼と連絡することが出来たのだが」

仮定法未来 (1)

仮定法未来（１）とは：

未来に対する強い仮定を表現する形式です。

基本構文：

<If + 主語 + should + 動詞の原形～、主語 + will/ would/ should/ could + 動詞の原形…>

注：if 節に should が含まれていることが、仮定法未来の絶対条件である。

訳：「万一～ならば、仮に～するとしたら」と訳すこと

If your back pains should return, don't hesitate to call me.

「万一、背中の痛みがもどってきたら、ためらわずに私に電話を下さい」

back pains 「背中の痛み」 don't hesitate to do 「ためらわずに…してね」

仮定法未来（２）

仮定法未来（２）とは：

現実性のほとんどないことを仮定で表す構文

基本構文：

<If + 主語 + were + to 不定詞～、主語 + would/should/could/might + 動詞の原形…>

訳：「万一～としたら、たとえ～としても」

注：構文的には仮定法過去と全く同じなので、仮定法過去として扱う傾向が強いです。

If his dream were to be realized, everybody would be stunned.

「万一、彼の夢が実現されるなら、皆が動転するでしょう」

realize<動>実現する be stunned 「(驚きなどで) 動転する」

仮定法現在（１）

仮定法現在（１）とは：

If 節の動詞が常に原形で、現在、未来についての想像や不確実な仮定などを表すのに用いられる。

基本構文：

<if + 主語 + 動詞の原形～、主語 + will/ shall + 動詞の原形…>

注：この仮定法現在は今日ではほとんど使われていない。

If his story be true, he shall have the right of appeal.

「もし彼の話が本当なら、彼は控訴する権利がある」

the right of appeal 「控訴する権利」

仮定法現在（２）

仮定法現在（２）とは：

基本構文：<It is + 感情・判断を表す語句 (strange 「変な」, a pity 「, surprising 「驚くべ

き」, impossible 「ありえない」, important 「重要な」, necessary 「必要な」, natural 「当然の」) that+ 主語+ should + 動詞の原形…/ that + 主語+ 動詞の原形…>

訳：「…なのは～である」

It is important that he should keep the doors locked. (一般)

= It is important that he keep the doors locked.(仮定法現在)

「彼がドアのカギをかけておくのは重要である」

It is important that he should keep the doors locked.と表現する方が一般である。主語+動詞の原形は仮定法現在である。It is important that he keep the doors locked.が仮定法現在の文である。ポイントは he keeps としないで、keep と原形で使われていることである

仮定法現在 (3)

仮定法現在 (3) とは：

基本構文：

<主語+(要求、提案、意向、命令を表す)動詞+that+ 主語 + should + 動詞の原形/ 主語 + 動詞の原形>

この構文で使用される動詞： demand 「要求する」 suggest 「提案する」 propose 「提案する」 intend 「…するつもりである」 insist 「主張する」 order 「命じる」 などがある。

We demand that working conditions here should be improved. (一般)

= We demand that working conditions here be improved. (仮定法現在)

「この労働条件が改善されることを要求する」

一般に使用される文と仮定法現在の文の違いは仮定法現在 (2) の場合と同じである。

仮定法現在 (4)

仮定法現在 (4) とは：

祈願文である。

The Lord have mercy on us!

「主よ、我らに恵みを与えたまえ」

仮定法現在 (4) のポイントは祈願文であること、それに動詞が常に原形であること。

2: 仮定法の if 節の if が省略された構文

仮定法過去の if 節の単語 if が省略される典型的構文

Were I in her position, I would hire a consultant.(if の省略形)

= If I were in her position, I would hire a consultant. (一般の文)

「もし私が彼女の立場なら、コンサルタントを雇うでしょう」

仮定法未来の if 節の単語 if が省略される典型的構文

Should your back pains return, don' t hesitate to call me.(if の省略形)

=If your back pains should return, don' t hesitate to call me. (一般の文)

「万一、背中痛みが戻ってきたら、ためらわずに私に電話をしてください。」

仮定法過去完了の if 節の単語 if が省略される典型的構文

Had I taken the airplane, I would have been killed. (if の省略形)

=If I had taken the airplane, I would have been killed.(一般の文)

「もしその飛行機に乗っていたなら、私は事故死していたでしょう」

3. 仮定法の if 節が他の表現で代用されてしまい、if 節が亡くなってしまった構文

仮定法過去完了の if 節が名詞（句）で代用されている場合(その 1)

A brave man would not have run away. (if 節が名詞[句]で代用された場合)

= If I had been a brave man, I would not have run away.(一般の文)

「もし私が勇敢な男だったならば、私は逃げなかったでしょう」

仮定法過去完了の if 節が名詞（句）で代用されている場合(その 2)

This medicine might have relieved my stomachache.(if 節が名詞[句]で代用された場合)

= If I had taken this medicine, it would have relieved my stomachache (一般の文)

「この薬を飲んでいたら、私の腹痛は軽くなっただろう」

仮定法過去の if 節が名詞（句）で代用された場合

A professional player would have to practice for eight hours a day. (if 節が名詞[句]

で代用された場合)

=If you were a professional player, you would have to practice for eight hours a day. (一般の文)

「プロの選手なら、一日に 8 時間、練習をしないといけないだろう」

仮定法過去の if 節が副詞 otherwise で代用されている場合

I' m very busy this weekend; otherwise, I could attend the conference.(if 節が otherwise で代用された場合)

I' m very busy this weekend. If I were not very busy this weekend, I could attend the conference.(一般の文)

「私は今週末、とても忙しい。そうでなければ、私はその会議に出席することが出来るで

しょう」

仮定法過去の if 節が副詞 **or** で代用されている場合

My son must be lost, or he would be here by now. (if 節が副詞 **or** で代用されている文)

= **My son must be lost. If he were not lost, he would be here by now.**(一般の文)

「私の息子は道に迷ったに違いない。さもないと、今頃はここにいるだろう」

仮定法過去完了の if 節が副詞 **otherwise** で代用されている場合

My husband worked hard every day, otherwise, he would not get promoted.

= **My husband worked hard every day. If he had not worked hard every day, he would not get promoted.**

「私の夫は毎日努力した。さもないと、彼は出世しなかつただろう」

get promoted 「出世する」

仮定法過去の if 節が前置詞 **without** 「…がなければ」 で代用されている場合

Without my family, I would not work so hard.

=**If it were not for my family, I would not work so hard.**

「私は家族がいなければ、そんなに一生懸命は働かないだろう」

仮定法過去の文では **without** …=**if it were not for**…「もし…がなければ」と覚えると便利。

仮定法過去完了の if 節が前置詞 **without** 「…がなかったならば」 で代用されている場合

Without your help, we could not have succeeded in this project.

= **if it had not been for your help, we could not have succeeded in this project.**

「もしあなたの助けがなかったならば、私たちはこのプロジェクトに成功しなかつただろう」

succeed in … 「…に成功する」

仮定法過去完了の文では **without**…=**if it had not been for** … 「もし…がなかったならば」と覚えておくと便利。

仮定法過去の if 節が前置詞句 **but for** 「…がなければ」 で代用されている場合

No living creatures could live but for water.

=**No living creatures could live if it were not for water.**

「水がなければ生き物は生きてはいけないただろう」

仮定法過去では **but for** …=**if it were not for**… 「…がなければ」と覚えると便利

仮定法過去完了の if 節が前置詞 **but for**… 「…がなかったならば」 で代用されている場合

But for the dog we could have gone abroad on holidays.

=If it had not been for the dog, we could have gone abroad on holidays.

「犬がいなかったならば、私たちは休日の時に海外へ行くことが出来たでしょう」

go abroad 「海外へ行く」 on holidays 「休日の時に」

仮定法過去完了では but for …=if it had not been for… 「…がなかったならば」

If 節が時を表す副詞 then で代用されている場合

His operation could have been performed then successfully enough, but it is too late now.

= if his operation had been performed then, it could have been performed successfully enough, but it is too late now.

「彼の手術があの時だったら十分成功していただろうが、今となっては手遅れだ。」

perform one's operation 「手術を行う」

if 節が副詞句 (without + 名詞) で代用されている場合

With more care, they would have arrived safely.

=If they had behaved more carefully, they would have arrived safely.

「もしもっと注意していたならば、彼らは無事に到着していただろう」

behave<動>ふるまう carefully<副>注意深く arrive<動>到着する safely<副>無事に

with + 抽象名詞=副詞 with care=carefully

if 節が条件を表す不定詞「もし…ならば」で代用されている場合

To hear him speak English, you would mistake him for an English native speaker.

=If you heard him speak English, you would mistake him for an English native speaker.

「もし彼が英語を話すのを聞けば、彼を英語のネイティブと取り違えるだろう」

hear him speak English 「彼が英語を話すのを聞く」 mistake A for B 「AをBと取り違える」

if 節が不定詞名詞的用法[主語の用法]で代用されている場合

To hesitate would have been fatal.

「ためらっていたならば、命がなかつただろう」

to hesitate は「もしためらっていたならば」という if 節の代用をしている。

hesitate<動>躊躇する fatal<形>致命的な「ためらうということは致命的だったろう」が直訳。

If 節が不定詞の形式主語で代用されている場合

It would be difficult to imagine a world without war.

=To imagine a world without war would be difficult.

「戦争のない世界を想像するのは難しいだろう」

4: 仮定法の要注意用法

I wish + 主語 + (仮定法) 過去 「…であればいいのだなあー」

I wish that I was not married.

「結婚していないならいいのだがなあ」

I wish that I was not married. は I am sorry that I am married. 「残念ながら私は結婚している」の仮定法である。

I wish + 主語+(仮定法)過去完了 「…であつたらよかつたのに」

I wish I had studied abroad when I was younger.

「若い時に留学していたら良かったのになあ」

I wish I had studied abroad when I was younger. は I am sorry I did not study abroad when I was younger 「残念ながら若い時に留学しなかつた」の仮定法である。

study abroad 「留学する」

<主語+動詞(現在形)+as if [as though] + 主語+動詞の過去形(仮定法過去)> 「まるで…であるかのように～である」

He walks as if he were drunk.

「彼はまるでよっているかのように歩く」

as if [as though]は「まるで…のようである」という意味。**be drunk** 「酔っている」

<主語+動詞の過去形+as if [as though] + 主語+動詞の過去形(仮定法過去)> 「まるで…であるかのように～だった」

Judy talked as if she were the only person who had problem in life 「ジュディはまるで人生で問題を抱えているただ一人の人であるかのように話した」

<主語+動詞(現在形)+as if [as though] + 主語+had + 過去分詞(仮定法過去完了)> 「まるで…したことがあるかのように～する/ 今まで…であつたかのように～する」

You speak as if you had seen a ghost.

「君はまるで幽霊を見たことがあるかのように話す」

<主語+動詞(過去形)+as if [as though] + 主語 + had + 過去分詞(仮定法過去分詞)> 「それまで…であつたかのように～した/ まるで…したことがあるかのように～した/ ま

るで…してしまったかのように～した」

He behaved as if his mother had died.

「彼は母親が死んでしまったかのようにふるまった」

<It seems [appears, looks] as if [as though] + 主語 + 動詞 (過去形) …>

「まるで…のようだ」

It seems as if she passed the exam.

「彼女は試験に通りそうだ」

<It is time + 主語 + 動詞の過去形 (仮定法過去) >

「もう…すべき (してもよい) 時だ」

It is time you went to bed, Jimmy.

「ジミー、もう寝る時間ですよ」

参考：

It is high time we cleaned up the beaches.

「ビーチを掃除すべき時がすでに来ている」

high time は「…すべきときがとっくに来ている」という意味

参考：

It is about time you stood on your own two feet.

「あなたもそろそろ独立しても良い頃です」

about time 「そろそろ…すべき時だ」

stand on one's own feet 「自分の足で立つ→独立する」

混合型仮定法 (1)

if 節が仮定法過去完了、主節が仮定法過去という組み合わせ

<If 主語 + had + 過去分詞…、主語 + would [should / could / might] 動詞の原形>

「もし…だったならば、～だろう」

If he had not smoked all his life, he would not have cancer now.

「もしずっと喫煙していなかったら、彼は今頃、癌にはなっていないだろう」

have cancer 「癌にかかっている」

混合型仮定法 (2)

If 節が仮定法過去、主節が仮定法過去完了という組み合わせ

<if 主語 + 過去の動詞…、主語 + would / should / could / might + have + 過去分詞>

「もし…ならば、～だったろう」

If there were life on the moon, scientists would have discovered it long ago.

「もし月に生き物が生存しているのなら、はるか前に科学者が発見していただろう」

If 節だけの仮定法 (1)

If only + 主語 + 過去形…！「ただ…でさえあればよいのだがなあ」

If only she were not married!

「彼女が結婚してさえいなければよいのだがなあ」

If 節だけの仮定法 (2)

If only + 主語 + had + 過去分詞…！「ただ…でさえあつたらよかったのだがなあ」

If only I had studied English!

「英語を学んでおきさえすれば良かったのだがなあ」

<passage 1>

In 1770, Captain Cook and his sailors traveled to Australia. Captain Cook and his sailors looked at the tall trees, gorgeous mountains and all of the beautiful scenery. They saw many exciting animals. They also met the native Australian people. The native Australian people did not speak English. They had a different language.

The sailors saw a tall animal with big ears and brown fur. It was jumping on two legs. “What is this animal?” they asked the Australian natives. The native people replied, “Kangaroo”. From then on, Captain Cook and his sailors called the animal a Kangaroo. Later, they learned that the word Kangaroo meant, “I don’t understand” in the native Australian language.

If the native Australian people had spoken English then, we would not call the tall animal Kangaroo now. Isn’t it about time we tried to find what its real name was in the native Australian language?

<passage 2>

The responsibility of Hollywood

This year, Argo won at the Academy Awards ceremony. Argo is a CIA drama set in Iran.

But the popularity of *Argo* is dangerous. Hollywood movies used to feature more controversial and diverse opinions. Ten years ago, a filmmaker used his acceptance speech to slam the Iraq war. This year, films like *Argo* and *Zero Dark Thirty* seemed to celebrate the American military.

Hollywood makes serious movies, but usually only about American characters. The Americans in *Argo* were heroes but almost every Iranian was an angry, religious fanatic. *Argo* did not explain why Iranians in the 1970s were angry. In the 1970s, the U.S. helped a dictator keep power in Iran. Iranians were angry about that for many reasons.

Some people think it is not Hollywood's job to teach about history. Movies are made for entertainment. But the arts are an important tool for reaching people. Movies can shape people's ideas about the world. Instead of making controversial movies about war, drone strikes and torture, we get simple, entertaining stories about the military.

Both *Argo* and *Zero Dark Thirty* are marketed as true stories. But *Argo* doesn't give any historical background, and *Zero Dark Thirty* gives false information about torture. Both are pro-American movies about the military. Pro-military stories should not be what we call art today. When the topic is controversial, balanced understanding of other perspectives is important.